

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

4- -4

4-
4

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	民泊や遊休施設活用の推進
	節	.ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	4 農家民泊の推進 修学旅行対応		事業主体	佐渡市観光振興課
	事業実施期間	H28～H34		関連団体 佐渡地域振興局(企画振興部、農林水産振興部)、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光振興課
事業概要	【事業目的】	ピーク時の宿泊施設不足への対応として、主に修学旅行向けの農家民泊の推進を図る。		
	【事業内容】	本土側の関係機関と連携を図りながら、小中学校や旅行代理店等にピーク時における島内の受入可能な農家民泊に関する情報提供を行う。		
⑨事業計画と実績	【29年度計画】	市内旅行関係者と連携により島内外小学校を対象とした農家民泊を10件誘致する。		
	【29年度実績】	佐渡地域観光交流ネットワークと連携し、11校322人の農家民泊受入を行った。		
課題・今後の取組	【課題】	受入先ホストが少ないため、受入先農家の拡充が必要である。		
	【今後の取組】	受入先農家拡充に向け、市広報紙等で呼びかけるとともに、平成30年6月15日に住宅宿泊事業法が施行することから国、県の法改正の動向を見ながら宿泊関係者と対応する。		
事業評価	【事業の達成度】 (a · b · c)	当初の計画以上に事業を実施したことからA評価とした。		
	【事業実施の効果】 (a · b · c)			
	【総合評価】 (A · B · C)			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。